

平成23年度地球市民・夢アクティブ21
市民提案型国際キャリアアップ事業

彫金技術習得と更なる技術向上をはかる



課題制作の冠輪



ミカランジェロの丘よりフィレンツェの街並み

実施場所：イタリア共和国 フィレンツェ
実施期間：2011年6月19日～12月13日

事業の目的

5年前より彫金技術の習得の為、福岡県に大分から往復4時間かけて通っています。

大分には彫金を本格的に学べる場所がないのが現状です。

そういう事もあり、私はいつか大分で彫金教室を開き、学びたいと思っている方々と一緒に彫金をできる場を大分に設けられればと思いました。

また、将来、郷土の技術・美術（竹細工など）とのコラボレーション作品を制作するなど、日本人のきめ細やかな技術を世界に発信できるような作家になりたいと思っています。

その為には、技術習得と技術向上が今の私には必要で、福岡の師事している方からも、一度、本場イタリアで学ぶことを勧められ、今回の事業を行いました。

事業内容

●フィレンツェとは？

フィレンツェはイタリアのトスカーナ州フィレンツェ県に属する人口36万人の都市です。トスカーナ州の州都、フィレンツェ県の県庁所在地であり、メディチ家統治時代にルネッサンス文化が花開いた街です。

フィレンツェの語源は、古代ローマ時代、花の女神フローラの町としてフロレンティア(Florentia)と名づけた事が語源とされています。周辺国ではフィレンツェのことをフローレンス(英)、フロランス(仏)、フロレンツ(独)、フォロレンシア(西)と呼ぶことにもその名残が見られます。



●フィレンツェの気候

温暖湿潤気候と地中海性気候の境界線上であり、活発な降水によって蒸し暑い夏と、涼しく湿った冬が特徴です。盆地なので風が少なく、夏の気温は周りの沿岸部より高くなります。

ちなみに・・・

私が渡伊した昨年は猛暑で40度を超えることもありましたが、上記の「蒸し暑い夏」という説明とは異なりとてもカラッとしていて、建物に入ればひんやりし汗もすぐに引くような想像よりも過ごし易い夏でした。ステイ先の大家さん(イタリア人女性)は「フィレンツェは盆地だからとても暑いけど大丈夫？」と気遣ってくれましたが、蒸し暑い日本よりもとても快適に過ごせました。大家さんに「フィレンツェはオーブントースター、大分は蒸し器」と説明したくらいイタリアの日差しはとても強く、肌がジリジリと焦げるようでした。でもこの強い日差しが味の濃い野菜や果物を育ててくれるそうです。



●フィレンツェと彫金

フィレンツェは金銀細工が大変有名で、特にフィレンツェ彫りや透かし彫りはとても繊細です。

また、観光名所の一つでもある、14世紀ごろにアルノ川に架けられたヴェッキオ橋には、宝石店や金銀細工の店が軒を連ねており橋の中央には彫金師チェッリーニの銅像があります。

●彫金専門学校

「METALLO NOBILE」

学校名のメタル・ノービレとは「最も高貴な金属」という意味で、金のことを指します。昔はジュエリーのことをこう呼んでいたとのこと。学校は少人数制で彫金を学びに様々な国から生徒が来ています。

<授業内容>

彫金・フィレンツェ彫り・透かし彫り・ワックス
キャストイング・エナメル・石留め

<実施行程>

上記コース全て受講2011年6月20日～12月13日
(石留めコースは期間内に15回受講。姉妹校で語学
コースを4週間受講。)



シルバーの粒と銅の粒を
溶かし地金を作る



作ったシルバーを整形



様々な工程を経て、いろいろな作品へ



作業風景



磨き後、石留め・彫りで仕上げ

今回の事業を行うことにより、日本では習得できない技術が習得でき、自分の自信にもつながりました。特に「洋彫り」の繊細な技術を学ぶことができ、彫金で表現できる世界が広がったと思います。また、フィレンツェで志を同じとする仲間と出会うこともでき、外国に住むことで日本の素晴らしさを再確認・再発見できました。学校の課題・作業に終われ、休みの日も自宅作業という彫金三昧の忙しい日々でしたが、とても充実した半年間でした。

ただ、反省点として、イタリア人の先生に言いたいことが伝わらなかったり、諦めたりすることが時々ありましたので、語学をもっと勉強するべきだと感じました。日本人アシスタントさんが難しい時は通訳をしてくれますが、自分で伝えることが大事だと思いました。

彫金の技術は一朝一夕に習得できるものではありません。この事業は私にとってのスタートであり、これからも日々努力していきたいです。そして、貴重な体験出来たことに感謝するとともにいつか大分に貢献できるよう、今後は技術や経験を活かし、いつか彫金を「地元の大分で学べる」ような場を作りたいと思います。また、大分の様々なアーティストの方や伝統工芸と共同制作をし、県内外に発信できればと思います。